

国の動向から佐賀県の現状、そして現場の実践事例まで。
「すべての子供たち」の安心と成長を支える、学校全体の一次的援助。

一次的援助サービスの充実に向けて

～特別な教育的支援を必要とする子どもたちも念頭に置いた
学級全体での指導方法の工夫について～

■ 増え続ける支援学級・教員不足・ スキルへの不安…

いま、私たちが通常学級でできる
アプローチとは？



1 近年の佐賀県内における特別支援学級の増加に伴い、現場では「教員不足やスキル面への不安から、十分な対応が難しい」という声が聞かれます。また、就学指導のあり方の見直しが議論されるなど、今、特別支援教育は大きな転換期を迎えています。

2 これまで特別支援学級担任の先生方を中心に研修を重ねてきましたが、多くの先生方から「通常指導のあり方や、通常学級でできる支援をもっと知りたい」という切実な声をいただけてきました。そこで、今こそ、すべての土台となる「一次的援助サービス（日常的な指導の工夫）」の充実に焦点を当てます。

3 本研修会では、まずインクルーシブ教育システムの構築を念頭に「切れ目のない支援体制の構築に向けて」というテーマで、文部科学省の近藤修史氏よりご講話いただきます。その後、佐賀県の特別支援教育の現状をご報告いただき、実際の学校現場で一歩先をいく実践をされている先生方の事例をもとに、参加者の皆さまと対話的に意見を交わし、明日からの指導に活かせるヒントを一緒に見つけていきます。

研修プログラム

第1部 13:00 ～ 13:50

講話 切れ目のない支援体制の構築に向けて

講師 近藤 修史 氏

(文部科学省 初等中等教育局
特別支援教育課 特別支援教育調査官)



第2部 14:00 ～ 14:40

報告 佐賀県の特別支援教育の現状について

報告者 河野 健治 氏

(佐賀県教育振興課 特別支援教室)



第3部 14:50 ～ 16:15

事例発表 (小学校の実践事例 2 事例)

発表者 ・古川 裕章 氏 (小城市立岩松小学校 教諭)
・林 ほなみ 氏 (江北町立江北小学校 教諭)

助言者 江口 亜加音 氏

(佐賀大学大学院
学校教育学研究科 准教授)



第4部 16:20 ～ 16:45

座談会 (事前質問に答えながら)

参加者の皆さまから事前にいただいた質問や、
日々の疑問・悩みに答えながら、参加者で深め合います。

開催概要

日 時

2026年11月21日(土) 13:00 ～ 16:45 (受付開始 12:30～)

場 所

北多久公民館 佐賀県多久市北多久町大字小侍45-3

対 象

教育分野での支援・連携に関わる皆さま
(特別支援・通常学級の教員、養護教諭、SC、SSW、
特別支援教育コーディネーター、巡回相談員、教育委員会職員 等)

参加費

無料

定 員

70名(要事前申込み・先着順) ※定員に達し次第、受付終了となります。

参加無料

事前申込制

定員70名

お申し込み方法

1 Webから(推奨):
右記のQRコード、または下記URLのフォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/2tsUmarpHJ5G1EFr9>

2 メールまたはFAXから:
「お名前」「ご所属・職名」「ご連絡先」「参加希望」を明記の上、
shien-sora@sage.ocn.ne.jp ☎ 0952-37-1252までお送りください。



<https://forms.gle/2tsUmarpHJ5G1EFr9>



主催・お問い合わせ

佐賀県西部発達障害者支援センター 蒼空～SORA～

〒846-0022 佐賀県多久市北多久町大字小侍40-2

TEL: 0952-37-1251 FAX: 0952-37-1252

